

WHAT IS CLAIMED IS:

【請求項 1】 CD 38 遺伝子の遺伝子変異を検出することにより、被検者における糖尿病発症危険因子を検出する、糖尿病発症危険因子の検出方法。

【請求項 2】 遺伝子変異が認められる部位が、CD 38 遺伝子によってコードされるCD 38 タンパク質の 140 番目のアルギニンをコードする部位、同 264 番目のセリンをコードする部位及びイントロン 7 の -28 番目のグアニンから選ばれる 1 種又は 2 種以上である、請求項 1 記載の糖尿病発症危険因子の検出方法。